

MB マーブライザー・アーティストテック・ベース



一般情報

マーブライザー・アーティストティック・ベースは特殊なフィニッシュを作り上げる塗料です。このユニークな塗料は大理石のような模様や蛇の皮、木目といった幅広い表面を作り出すことが可能です。ペインターの想像力によって無限にいろいろな模様が作り出せます。2色使うことによって深みを出したり、キャンディを使うと非常にきれいなフィニッシュとなります。マーブライザーはベースコートの一つなので、そのままクリアコートをかけて完成することもできますし、キャンディのベースとしてのご利用も可能です。またウレタンエナメルを上のにせることが可能です。例としてマーブライザーの上にウレタン・キャンディを塗装した場合、クリアもウレタン・クリアでなければいけません。

1. 準備

塗装を始める前にテック・プレップをよくお読みください。プラスチックフィラーやパテ、ファイバークラス樹脂やプライマーによりしみやにじみが出る可能性があります。このような問題が起こらないようにするためにボディーまで削り(もしくは OEM プライマーまで落とす) KP-2CF エポキシプライマーか KP-21 エポキシプライマーで下地を作ってください。KP プライマーについてはテック・シートを参照願います。

2. グラウンドコート

- プライマー (KP-2CF、FP-21)
- シーラー(コー・シールⅡ)
- シムリン・ベース

パールベースコートを塗る前には車体が単一の色になっていなくてははいけません。プライマーやシーラーをグラウンドコートとして塗ることも可能です。コー・シールⅡのようなハウス・オブ・カラー製シーラーをご利用ください(3種類の色が用意されています)。隠蔽性を良くするためにベースカラーに一番近い色を選んでください。シーラーの乾燥時間を守ってください。プライマーとシーラーについてはテック・シートを参照願います。

注: シーラーは不十分な下地による変色やにじみを修正するための物ではありません。シーラーの主な目的はトップコートをのりやすくし、車体を単一の色にすることです。

またデザイナー・パール、グラフィック・カラー、ネオン、メタリックといったシムリン・ベースコート各種をグラウンドコートとして使うことも出来ます。グラウンドコートの色はフィニッシュの色に大きな影響があります。各コーティングの乾燥時間を注意してください。

3. ベースコート

マーブライザーはベースカラーの上に塗装します。一番大きな効果を得られるのはハウス・オブ・カラーのBC-25(ブラック)、PBC-43やPBC-100(ブラック・パール)をベースとしてご利用いただくことでしょう。その他のカラーでもお使いいただけます。実際に塗装する前にいろいろなコンビネーションを試し吹きすることをお勧めします。ベースカラーを15～30分乾燥させた上でマーブライザーを塗装してください。

4. 希釈(MB)

マーブライザーは希釈無しでそのまま塗装できます。マーブライザーをよくかき混ぜ、ストレーナーを通してガンに入れます。サランラップといった模様を入れる題材を塗装後すぐに使えるところに置いておきます。マーブライザーを塗装して乾いてしまうと、マーブライザーの効果を出すことができず、再度塗装をする必要があります。塗装後数分のうちにサランラップ等で表面を押し、模様を入れます。

5. MB-00(Neutral Clear)

ドライパールを28g、約1ℓのMB-00に追加して、いろいろな色を作り出すことが可能です。

6. マーブライザーの塗装

マーブライザーは1/2の重複パターンで塗装します。空気圧はガンで0.27Mpa～0.34Mpa、HVLPの場合ノズルで0.07Mpaに設定します。ガンを15cm程の距離で1回だけ塗装します。

注：マーブライザー塗装後1～2分待ってからサランラップを表面に当てます。

注：その他いろいろな物で模様をつけることは可能で、スポンジ、紙、アルミホイル等模様が付けられるものなら、なんでも結構です。

さらに色に深みを出すために、最初のマーブライザーの上から更にもう一層マーブライザーを塗ることも出来ます。15～30分程待ってから2回目のマーブライザーを塗装します。サランラップ等で模様を付けます。

マーブライザーの乾燥確認テスト—マーブライザーは乾燥すると光沢が無く、次のコーティングをする前に指で軽く触って表面が乾いていることをご確認ください。

ラッカートップコートの場合：

マーブライザーのアートワークを終えた後、約21℃で30分程乾燥させ、SG-100インターコートクリアかAP-01 アドヘレート・アドハッション・プロモーターrを塗ってください。

SG-100インターコートクリア 50%に希釈したSG-100を1～2コート塗ってください。15分ほど乾燥させ、ウレタンキャンディかクリアコートをかけてください。

AP-01 アドヘレート アートワークをそれ以上やらないのであればAP-01をSG-100の代わりにお使いいただけます。AP-01を1コート塗り、その上からすぐにトップコートを塗装します。AP-01についてはテック・シートを参照願います。

注： マープライザーの上にウレタントップコートのをせる場合には SG-100 か AP-01 をマープライザーに塗る必要があります。もしこれを怠った場合、ウレタントップコートが剥離します。

7. キャンディコート

マープライザーの上にウレタンエナメルのキャンディを塗ることが可能です。キャンディについては Tech Sheet を参照願います。

8. クリアコート

マープライザーはクリアコートをする必要があります。必ずハウスオブカラー製のクリアをお使いください。クリアコートについては Tech Sheet を参照願います。